

2018 7. vol.53

社会福祉法人

# 愛媛いのちの電話



1985年電話相談を開始し33年目を迎えました



オオハシシギ

写真提供：石川 清治氏  
撮影場所：西条市氷見 新兵衛橋

ひとりぼっちで悩まないで……

## CONTENTS

- ・10月開講します 相談員養成講座
- ・ある日の電話から
- ・「自分の物語を語り紡ぐこと」杉田浩崇
- ・平成29年（2017）年度事業報告

相談電話 **089-958-1111**

毎月1日～10日：昼12時～翌朝6時  
11日以降：昼12時～午後10時

インターネット相談

<http://www.e-inochi.jp/>

「インターネット相談」はこちらへ をクリック

やってみたいけど、大変そう…  
できるだろうか…



そんな不安はあると思いますが  
たっぷりの時間をかけて  
充実した内容の講義でほぐしていきます  
きっと新しい自分に出会えます

さあ、一歩踏み出してみませんか！

期 間	2018年10月～2019年7月（全20回） 月2回土曜日13：30～16：30を予定 1日研修と宿泊研修（1泊2日）を含む
参加資格	22才～68才
受講料	40,000円 別途 参考書代1,500円程度 宿泊研修15,000円 （原則としてお納めいただいた受講料はお返しできません）
会 場	松山市ハーモニープラザ3F（予定）松山市若草町8-3
募集人数	30名

### 問い合わせ

社会福祉法人愛媛いのちの電話事務局  
〒790-8691 松山中央郵便局私書箱158号  
mail ▶ ehime-1111@e-inochi.jp  
FAX ▶ 089-958-2014  
電話 ▶ 089-958-2000（月～金10：00～16：00）

### 申込締切

2018年9月30日（必着）  
詳しくは愛媛いのちの電話のホームページ  
<http://www.e-inochi.jp/> をご覧ください

### 担当講師

#### 武井 義定

社会福祉法人  
愛媛いのちの電話 理事長  
勝山幼稚園園長  
臨床心理士



ボランティア精神と相談活動  
人はなぜ自殺するのか  
宿泊研修 <感受性の訓練>

#### 青野 篤子

福山大学  
人間文化学部教授



現代のライフサイクル論  
性・DV・ハラスメントを巡る問題

#### 大久保雅代

愛媛県スクールカウンセラー  
臨床心理士



自殺予防の現状といのちの電話の意義  
傾聴訓練Ⅱ <傾聴について>  
電話相談演習Ⅲ <発達障がい>

# 養成講座を開講します

担当講師	講座内容
<p><b>越智 真理子</b> 真理こころのクリニック院長 精神科医</p>	 <p>こころを病む人Ⅰ &lt;うつ・統合失調症&gt; こころを病む人Ⅱ &lt;神経症・境界性人格障害&gt;</p>
<p><b>梶原 万裕</b> 臨床心理士</p>	 <p>傾聴訓練Ⅲ &lt;受容と共感について&gt; 電話相談演習Ⅳ &lt;頻回通話者&gt;</p>
<p><b>杉田 浩崇</b> 愛媛大学 教育学部准教授</p>	 <p>現代の人間関係の課題</p>
<p><b>川本こずえ</b> 臨床心理士</p>	 <p>電話相談演習Ⅱ &lt;危機介入&gt;</p>
<p><b>平林 茂代</b> えひめ親子 人間関係研究所所長 臨床発達心理士</p>	 <p>一日研修 &lt;心のふれあい体験&gt; 発達障がいについて</p>
<p><b>横田 和子</b> 愛媛大学 松山東雲短期大学 非常勤講師 臨床心理士</p>	 <p>傾聴訓練Ⅰ &lt;体験学習とは&gt; 電話相談演習Ⅰ &lt;こころを病む人への対応&gt;</p>

## 新人相談員の声

きっかけは定年退職。たまたま新聞で見かけた相談員募集の広告だった。その時は長年会社で管理職として人と関わってきた経験が生きるだろうと考えていたので、躊躇することなく応募した。しかし、電話から聞こえてくる声の少なからずが、これまでの人生で全く接点のなかった、精神を病み生き辛さに苦しむ人達の孤独の声であった。長年の会社員生活が習性となり、心情よりも理屈ものを考えがちな自分にとって、第2の人生を前に今後を考える良い機会になったと今は思っている。

(Y.T)

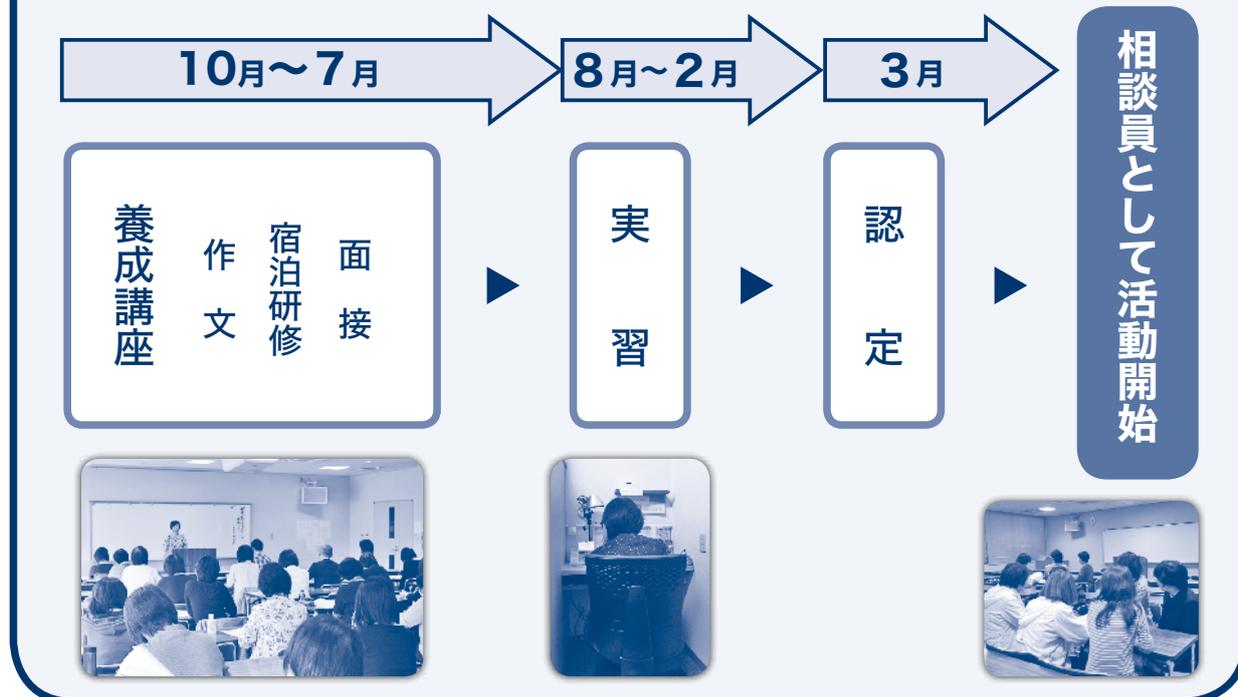
養成講座で「受容と共感」「聞く・訊く・聴く」を自分なりに理解したつもりで臨んだ初日、顔は引きつり声も出ない。聴くより訊くことばかりで頭は真っ白、胸は一杯。終了後はただただ呆然自失。そんな日から1年、ふと思い出した言葉が「啐啄同時」。雛：私が孵る時、親鶏：サポーターが外から殻をつついてくれたのだと思う。そして今、殻を破り顔だけ出している私になれたかな。サポーターさんや研修グループの仲間へ支えてもらいながら、ひよこに成長したいと思っています。

(M.A)

相談員活動が3年になりました。相談者の話は様々で、傾聴するだけでも世界が広がります。何故、相談員を続けているのが話題になることがあります。活動を通じて自分が成長できるということもあるでしょうが、私は聴く訓練をした仲間との「ゆるい絆」だと思っています。家族にも話せなかったことを話せる自己開示のできる場があるという安心感で何人かの相談員とつながっています。

(J.F)

# いのちの電話の 相談員になるには



## ある日の電話から

60代女性から

子どもたちが自立したのでこれからは自分の自由な時間を楽しみたいが趣味どころか休日に気晴らしするためのお金がない。全くこの国は教育にお金がかかり過ぎる。いまだに教育費の借金返済が続いている。この年齢で一人暮らしを続けるのは身体的にも経済的にも難しい。

息子は結婚し家庭があるのだから同居は考えていない。

「だって無理でしょ。いろいろ気を使うし窮屈。自分らしく生きられない。」

「自分らしく生きられない？」

これまでのように一人で強く生きていきたいということだろうか？

想像は巡る。こちらの興味関心で話を広げないようにと思いつつもやはり質問してしまった。

「自立した母親でいたいということですか？」

「だってこの歳で同居なんてしたら途中でやっぱり無理だからって放り出せないでしょ。息子に迷惑かけてまで生きていても仕方ない」

「あぁ、迷惑かけてまで生きたくないと思うのですね」

迷惑かけたくないのは当然だろうが、生きていたくないと言われると穏やかではられない。

何かよい策はないものかと考えても電話相談で解決できる話ではない。私たちにできることはただ相手の気持ちを

丁寧に聴いていくことだけか。

会話のなかで打開策が見つかった訳ではないけれど彼女は最後に

「今日は誰にも言えなかったことを話すことができました、ありがとうございます」と。

少し明るい声になっていた。

※内容は実際の相談を基に構成し直したものです。



提供 春藤 伸一氏



## 『自分の物語を語り紡ぐこと』

愛媛大学教育学部准教授  
杉田 浩 崇

子育てをはじめ、娘とテレビのアニメを見ることが増えた。人気なのはやはりパパと似ているからだろうか、アンパンマンだ。『アンパンマンのマーチ』には大人に突き刺さるフレーズがある。「何のために生まれて、何をして喜ぶ。わからないまま終わる、そんなのは嫌だ。」

人は自分がどんな存在で、人生の意味は何なのか（アイデンティティ）に基づいて生きている。けれども、それは生涯かけて変わらないものではない。そんなものを見つけられたら苦労しない。子どもと大人の狭間で不安定な青年、子育てが一段落してキャリアを考え直す女性、職場の人間関係がうまくいかず転職を考える若者、部下と上司に挟まれ思い悩む社員、定年前に第二の人生を考えたり、大きな病気に遭遇したりして生きる意味を模索する高齢者。その時々には人は新たな経験や他者に出会い、戸惑いつつも自分なりに意味を見出し、自己の物語（ストーリー）を紡ぎ出していく。それがやがて自己の歴史（ヒストリー）になっていく。そうして人は生き立ちを語るできるようになる。

もちろん、自分の物語を更新していくことはときに苦痛である。今まで安定していた自分らしさが失われてしまうかもしれない。他の人とは異なる「自分らしさ」や「将来の夢」を持つことがよいとされ、自分の安定を保つために他者からの承認を求めて表面的な「つながり」や「空気を読む」ことを必要としてきた私たちの世代の学校生活を振り返ればなおさらである。けれども、自分らしさ（アイデンティティ）は変わりうるものだし、一貫していなくてもいい。苦い思い出として語られていた失恋の経験が、いまではよいものとして語り直されることがあるように、また、仕事と家庭と趣味のそれぞれの場で別の顔を持っていてもいいように、自分らしさはその時々で語り直されながら更新されていくものなのである。

ときには苦痛を伴う自分らしさの更新に必要なものは何か。そのひとつは、安心して失敗できる承認関係だろう。承認論を展開しているアクセル・ホネットは、自分の経験を開示し、表現できなくなることは、自分の経験に自信を持たず、自己承認ができなくなっていることだという。おそらく、あなたに相談をしてくる人は、そうした自己承認を失いかけているのだろう。だとすれば、あなたにできることは、相手のようやく紡ぎ出したことばを受け入れ、承認されているという安心感をつくり、相手が自分なりの意味を見出す手助けをすることなのかもしれない。

けれども、そうして親身になって相手を理解しようとするときには注意が必要である。相手を理解できると思い込むことは、こちら側の一方的なお節介に終わりかねない。寄り添いケアすることの大切さを説いたメイヤノフも、相手を理解しきれないことを自覚して、相手に謙虚に学ぶ姿勢を求めている。傾聴は学びである。自分らしさとは何か、生きる意味は何か、それを紡ぎ出すのはあくまで相手なのだとすることを忘れないでいたい。

# 社会福祉法人 愛媛いのちの電話 事業報告

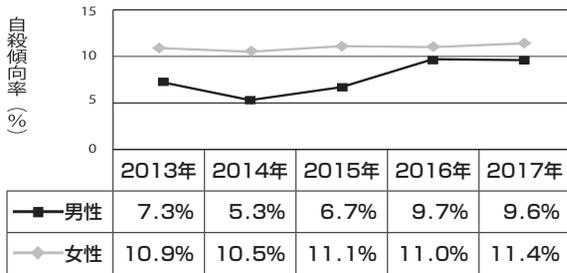
## 電話相談受信状況 (2017年1月1日～2017年12月31日)

- 1、受信時間 1日～10日 12時～翌朝6時  
11日～月末 12時～22時
- 2、相談員 89名 (実働75名)
- 3、受信件数 12,682件  
そのうち自殺傾向のある相談 1,321件 (10.4%)

### ▼ 年間相談件数

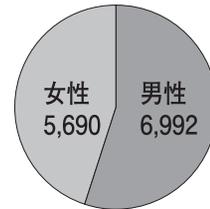
	相談件数	月平均相談数	1日平均相談数
2017年	12,682	1,056.8	34.7
2016年	13,656	1,138.0	37.4
2015年	13,196	1,099.7	36.2
2014年	12,890	1,074.2	35.3
2013年	12,527	1,043.9	34.3

### ▼ 男女別自殺傾向率

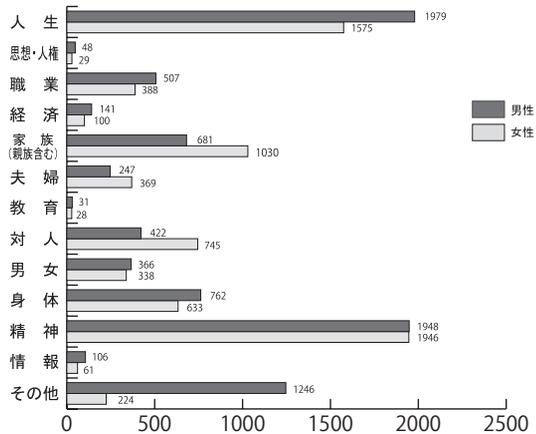


自殺傾向率=自殺を訴えた相談件数/全相談件数

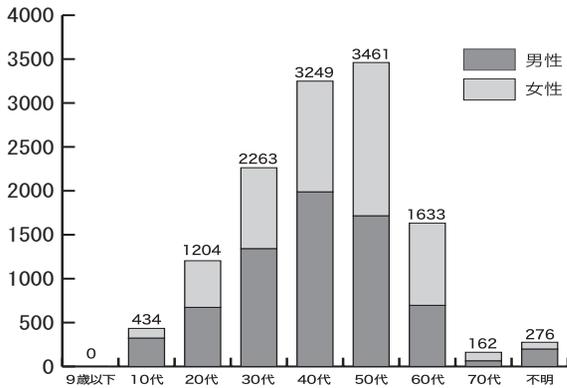
### ▼ 男女別相談件数



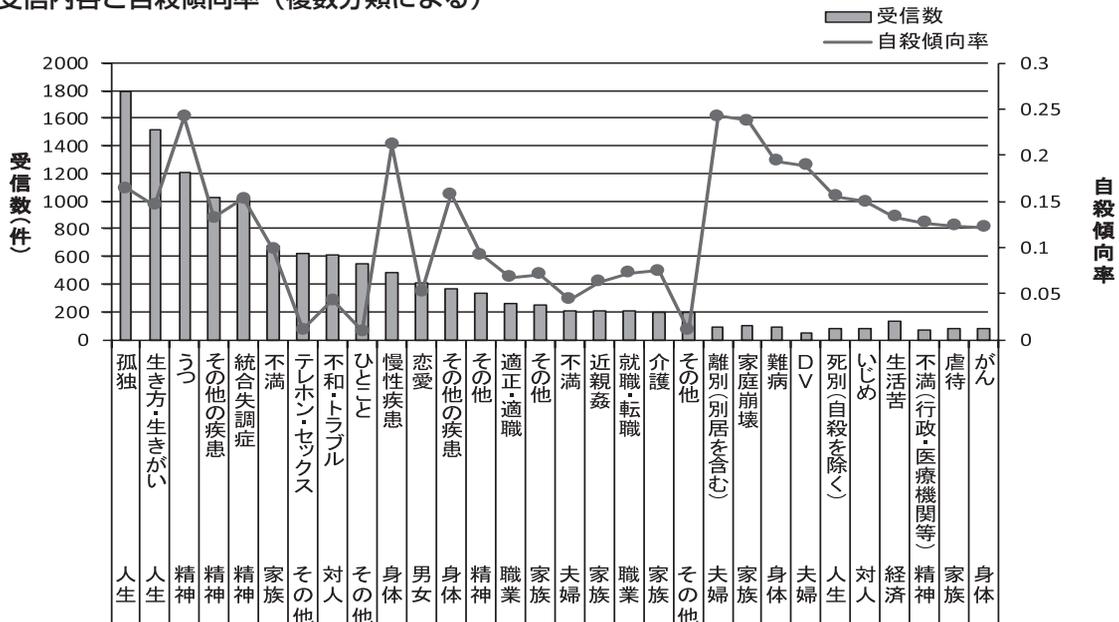
### ▼ 問題別相談件数



### ▼ 年代別相談件数



### ▼ 受信内容と自殺傾向率 (複数分類による)



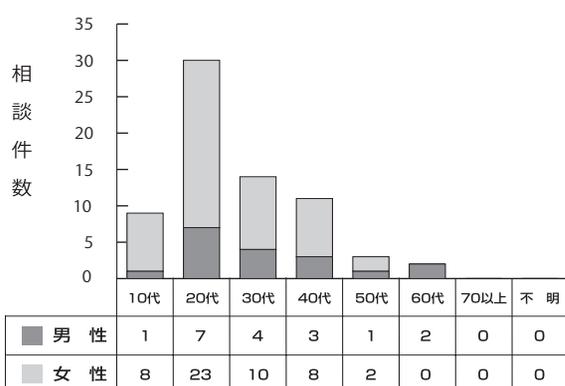
## インターネット相談(旧システム)実施状況(2017年4月~2017年9月)

- 1、実施日 合計9日  
 2、担当相談員 17名  
 3、受信件数 69件  
 そのうち自殺傾向のある相談 34件

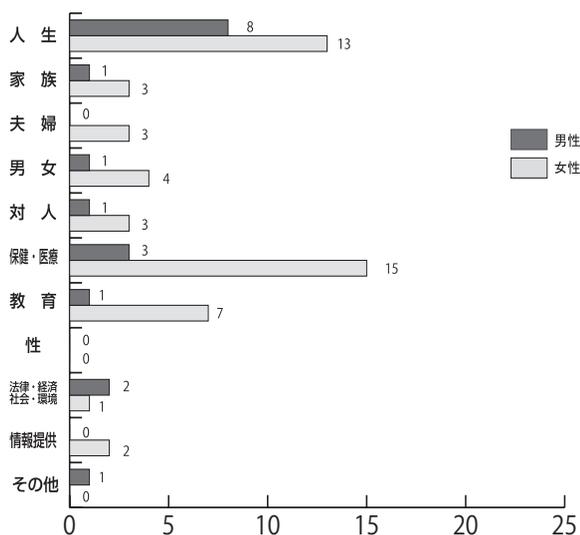
### ▼ 男女別相談件数

男性 18件  
 女性 51件

### ▼ 年代別相談件数



### ▼ 問題別相談件数



## インターネット相談(新システム)実施状況(2017年8月~2018年3月)

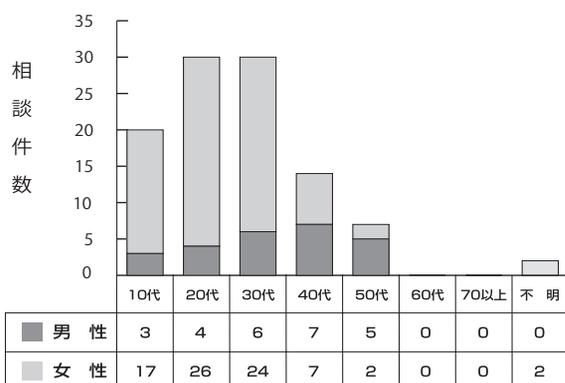
(但し8月~10月は試行期間データ)

- 1、実施日 合計31日  
 2、担当相談員 15名  
 3、受信件数 103件  
 そのうち自殺傾向のある相談 54件

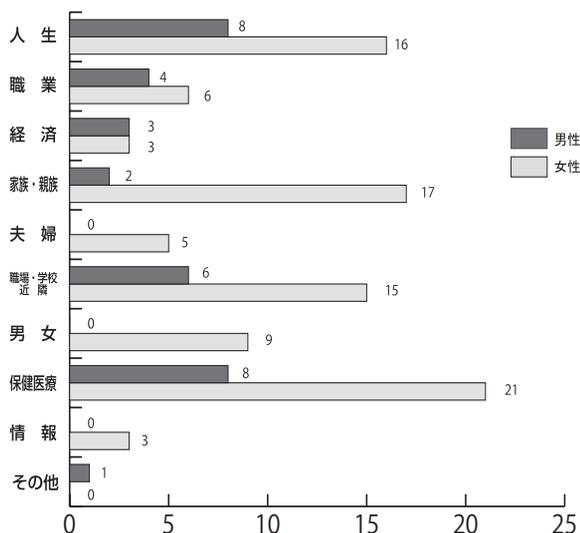
### ▼ 男女別相談件数

男性 25件  
 女性 78件

### ▼ 年代別相談件数



### ▼ 問題別相談件数



# 事業報告

## 平成29（2017）年度 事業報告（2017年4月1日～2018年3月31日）

### 1、理事会・評議員会の開催

- 5月15日 理事会  
平成28（2016）年度事業報告、決算報告  
社会福祉充実計画・定時評議員会の招集について  
新理事・監事の選任について
- 6月7日 定時評議員会  
平成28（2016）年度事業報告、決算報告  
社会福祉充実計画、理事・監事の選任について
- 6月7日 理事会 理事長・副理事長の選任
- 12月8日 理事会  
平成29（2017）年度上半期事業報告、会計報告、  
基本財産の増額、平成29（2017）年度第一次  
補正予算  
平成30（2018）年度事業計画
- 1月25日 評議員会（書面による） 定款の変更  
※ 新定款の認可 3月26日
- 3月19日 理事会  
平成29（2017）年度第二次補正予算  
平成30（2018）年度 事業計画および予算に  
ついて

### 2、電話相談事業

- 受信時間  
相談時間10時間（毎日12時～22時）  
月初め10日間は（12時～翌朝6時）  
電話2台 受付番号 089-958-1111
- 相談員（2017年4月1日現在）  
登録相談員 89名（男19名、女70名）  
実働相談員 75名（男18名、女57名）  
実習 2名（男0名、女2名）  
平成29（2017）年度2,000時間受信達成者 2名
- 受信件数（2017年1月から12月）  
相談件数 12,682件（1日平均34.7件）  
そのうち自殺傾向のある電話：1,321件 10.4%  
※参考（2016年1月から12月）  
相談件数：13,656件（1日平均36.5件）  
そのうち自殺傾向のある電話：1,407件 10.3%
- 新居浜分室（2017年1月から12月の受信件数）  
毎月4回の実施 1,495件（1日平均31.1件）
- インターネット相談

- 旧システム（2017年4月～9月）毎月随時実施  
相談員数 17名 返信数 69件  
自殺傾向のある相談34件（49.2%）
- 新システム（2017年8月～2018年3月）  
※8月～10月は試行期間データ  
毎月随時実施 相談員数 15名 返信数 103件  
自殺傾向のある相談54件（52.4%）

### 3、電話相談員の養成と研修

- 電話相談員養成講座  
第36期 4月から2名が実習 認定2名  
10月6日 認定証 授与式  
第37期 10月14日 養成講座開講 受講者12名
- 現相談員の継続研修（月1回）
  - 毎月1回のグループ研修 継続グループ数 9  
（1年目のわかば、2年目の青葉を含む）  
訓練委員 7名 青野篤子、大久保雅代、梶原万裕、  
武井義定、野口理英子、平林茂代  
横田和子
  - 全体研修会 6月19日 参加 49名  
「頻回通話者について  
～みんなで話そう・みんなで学ぼう～」  
担当訓練委員：青野・大久保・梶原・武井・野口

### 4、委員会活動

- 研修企画委員会 各研修会、養成講座の企画と検討  
相談員の認定
- 相談委員会 相談室内の問題点等を検討、  
相談員の親睦 全体会の企画  
相談員全体会：11月25日 参加45名
- 広報委員会 外報誌「愛媛のちの電話」51号  
（事業報告を含む）52号を発行
- 財務委員会 イオンデー：毎月11日、黄色いレシートキャ  
ンペーンに参加 収益 90,100円  
（イオンS松山店+マックスバリュ今治阿  
方店）  
外報誌を後援会会員に郵送
- 事業委員会 相談室内のフリーマーケット  
売上：33,996円  
パステル工房のクッキー販売  
売上：12,625円
- 統計委員会 通常の相談電話とフリーダイヤルの統計処理

## 事業報告



### 連盟への報告

- 運営会議 各会議、委員会、事務局の連絡、報告  
事業の計画・実施について討議

- 事務局 内報誌「なかま」の発行 毎月1回

### 助成金の申請、報告等

- ① MS & ADゆにぞんスマイルクラブ
- ② 愛媛県精神保健福祉協会  
「愛媛県精神保健福祉思想普及事業費補助金」
- ③ 赤い羽根共同募金「ボランティア・NPO支援事業助成金」

- ④ 日本郵便(株) 平成30年度年賀寄付金配分  
「インターネット相談用のパソコンとプリンター」

申請 11月7日不採択の通知3月30日

その他 事務全般を担当

インターネット相談運営委員会（東京）3月16日

- ④ 第42回自殺予防シンポジウム（つくば）9月24日
- ⑤ 日本電話相談学会（東京）10月21、22日

## 6、平成29年度愛媛県地域自殺対策強化事業

「広報活動の拡充」 6月29日契約 交付額 500,000円

### 内容

- ① メディア広告
- ② ホームページの更改
- ③ 愛媛いのちの電話の紹介DVD作成

## 7、愛媛県・松山市 諸機関との連携

- (1) 愛媛県自殺予防対策連絡協議会 11月27日  
出席 武井理事長
- (2) 愛媛県犯罪被害者支援連絡協議会幹事会 7月14日  
愛媛県犯罪被害者支援連絡協議会定例会 9月7日
- (3) 松山市自殺対策関係機関連絡会 5月1日・12月19日
- (4) 松山市自殺対策推進委員会 5月25日・1月25日  
医療部会 7月31日・2月16日
- (5) 松山市自殺予防週間啓発活動協力 9月8日  
松山市駅前 参加2名
- (6) 今治市こころの健康等相談機関連絡会 1月30日
- (7) 四国中央市対人支援スキルアップ研修 3月14日  
講師：武井義定
- (8) 愛媛県教育委員会「いじめ相談ダイヤル24」への協力

## 5、全国のセンター、連盟との連携

- (1) 厚生労働省補助事業  
フリーダイヤル自殺予防いのちの電話  
毎月10日午前8時から11日午前8時まで  
受信件数826件（1日平均68.9件）  
そのうち自殺傾向のある電話：205件 24.8%
- (2) 公開講演会 平成29年9月4日(土) 14:00~16:00  
愛媛県男女共同参画センター  
演題：「生きているということは  
～上條恒彦のトーク&コンサート～」  
講師：上條恒彦氏 参加 241名
- (3) 一般社団法人日本いのちの電話連盟の会合
  - ① 日本いのちの電話連盟定期総会 5月26日
  - ② 全国理事長事務局長会議 5月27日
  - ③ 日本いのちの電話連盟研修委員会 6月3日
  - ④ 第3回中国・四国いのちの電話事務局会議 6月18日
  - ⑤ 日本いのちの電話連盟 研修担当者研修 6月19日
- (4) 日本いのちの電話連盟インターネット相談
  - ① 新システム相談員養成研修  
(愛媛) 7月22、29日 参加19名 認定15名  
(東京) 11月25、26日 参加3名 認定3名
  - ② チャット相談研修会（東京）  
8月9日、2月24日 参加3名  
チャット相談トライアル 参加3名  
1回目8月末～9月初め、2回目3月末
  - ③ インターネット相談プロジェクト会議（東京）  
インターネット相談実施センター会議（東京）8月28日

## 平成29（2017）年度 役員

- |      |       |       |       |
|------|-------|-------|-------|
| 理事長  | 武井 義定 |       |       |
| 副理事長 | 谷本 治  |       |       |
| 理事   | 大久保雅代 | 川崎 佳子 |       |
|      | 中矢 吉男 | 横田 和子 |       |
|      |       |       | 以上 6名 |
| 監事   | 足立 純一 | 近藤 猛  |       |
|      |       |       | 以上 2名 |
| 評議員  | 青野 篤子 | 奥村 武久 |       |
|      | 越智 眞理 | 谷 直樹  |       |
|      | 西澤 孝一 | 原 敏彦  |       |
|      | 平林 茂代 |       |       |
|      |       |       | 以上 7名 |

事業報告

平成29 (2017) 年度 決算報告

2017年度 事業活動計算書 (2017年4月1日～2018年3月31日)

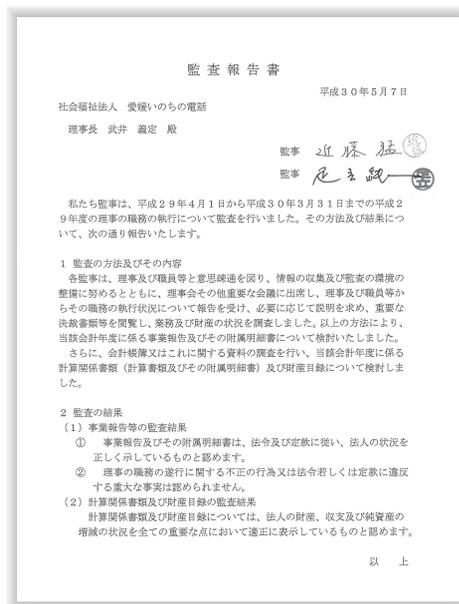
勘定科目		2017年度決算
サービス活動増減の部	収益	
	その他の事業収益	1,203,000
	その他の収益	404,000
	経常経費寄附金収益	3,331,709
	サービス活動収益計(1)	4,938,709
	費用	
	人件費	2,852,643
事業費	850,211	
事務費	1,687,760	
減価償却費	412,214	
サービス活動費用計(2)	5,802,828	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	▲864,119	
サービス活動外増減の部	収益	
	受取利息配当金収益	2,794
	その他のサービス活動外収益	38,139
	サービス活動外収益計(4)	40,933
費用		
サービス活動外費用計(5)		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	40,933	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	▲823,186	
特別増減の部	収益	
	特別収益計(8)	
	費用	
	固定資産売却損・処分損	1
特別費用計(9)	1	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	▲1	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	▲823,187	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	9,830,651
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	9,007,464
	基本金取崩額(14)	
	その他の積立金取崩額(15)	
	その他の積立金積立額(16)	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	9,007,464

2017年度 資金収支計算書 (2017年4月1日～2018年3月31日)

勘定科目		2017年度決算	2017年度予算
事業活動による収支	収入		
	その他の事業収入	1,203,000	1,203,000
	その他の収入	404,000	404,000
	経常経費寄附金収入	3,331,709	3,200,000
	受取利息配当金収入	2,794	3,000
	その他の収入	38,139	0
	事業活動収入計(1)	4,979,642	4,810,000
	支出		
	人件費支出	2,852,643	2,869,000
	事業費支出	850,211	858,000
事務費支出	1,687,760	1,675,500	
事業活動支出計(2)	5,390,614	5,402,500	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	▲410,972	▲592,500	
施設整備等による収支	収入		
	施設整備等収入計(4)	0	0
	支出		
施設整備等支出計(5)	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	
その他の活動による収支	収入		
	その他の活動による収入計(7)	0	0
	支出		
	積立資産支出	1,445,435	1,445,435
その他の活動支出計(8)	1,445,435	1,445,435	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	▲1,445,435	▲1,445,435	
予備費支出(10)	-	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	▲1,856,407	▲2,037,935	
前期末支払資金残高(12)	7,540,037	7,540,037	
当期末支払資金残高(11)+(12)	5,683,630	5,502,102	

2017年度 貸借対照表 (2018年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	5,758,526	流動負債	74,896
固定資産	14,878,399	負債の部 合計	74,896
基本財産	13,000,000	純資産の部	
その他の固定資産	1,878,399	基本金	11,554,565
		その他の積立金	
		次期繰越活動増減差額	9,007,464
		純資産の部 合計	20,562,029
資産の部 合計	20,636,925	負債及び純資産の部 合計	20,636,925



平成30(2018)年度 事業計画 (2018年4月1日～2019年3月31日)

1、法人運営

- 6月上旬までに：理事会 (29年度決算、事業報告)
- ～6月：第2回定時評議員会 (29年度決算、社会福祉充実計画)
- ～6月：現況報告書、役員名簿、計算書、事業報告書 財産目録、監査報告書の届出
- ～3月：理事会 (31年度事業計画、予算)

2、相談事業

- 電話相談 相談時間10時間 (毎日12時～22時) 月初め10日間は (12時～翌朝6時) 新居浜分室での受信 (随時…毎月3回) ※今年度は特に分室の拡充を図る
- インターネット相談 毎月4日の受信

3、電話相談員の養成と研修

- 電話相談員養成講座
  - 第37期 前年度よりの継続 7月まで養成講座後半 その後実習研修 (8名)
  - 第38期 電話相談員養成講座 10月 開講
- 現相談員のグループ別継続研修 (月1回)
  - 継続グループ数8 (37期生の養成研修グループを含む)
  - 訓練委員 7名 青野篤子、大久保雅代、梶原万裕 川本こずえ、武井義定、平林茂代 横田和子
  - サポーター養成研修

4、一般社団法人「日本のいのちの電話連盟」・他センターとの連携

- 厚生労働省補助事業フリーダイヤル 自殺予防いのちの電話に参加
  - 毎月10日午前8時～翌朝8時 (24時間)
  - 公開講座 講師：夏苺郁子先生 日時：2018年9月1日 13:30～15:30 場所：愛媛県男女共同参画センター 多目的ホール
- インターネット相談
  - インターネット相談運営委員会に参加
- 会議と大会
  - 5/25 社員総会 (東京)
  - 5/26 事務局長会議 (東京)
  - 6/30～7/1 第4回中四国事務局会議 (山口)
  - 10/18～20 相談員全国研修会にいがた大会
  - 連盟の研修委員として横田和子理事が委員会に参加

5、運営組織の見直しと拡充

- 運営会議の開催 (月1回)： 各委員会の連絡、諸行事の企画・実施

- 各委員会活動 (月1回)： 相談、財務、広報、事業、統計、研修企画
- 外報誌「愛媛いのちの電話」(年2回)と内部報「なかま」(毎月)の発行及び発送
- ホームページの更新、その他の広報活動
- 後援会との連携

6、愛媛県諸機関および松山市との連携

- 愛媛県自殺予防対策協議会
- 愛媛県被害者支援連絡協議会
- 松山市自殺対策関係機関連絡会
- 松山市自殺対策推進委員会への参加
- 愛媛県地域自殺対策強化事業
- 愛媛県三浦保「愛基金」への申請
- 愛媛県教育委員会「いじめ相談ダイヤル24」への協力

7、その他

2018年度 予算

勘定科目		金額
事業活動による収支	収入	
	補助金事業収入	1,944,000
	その他の事業収入	520,000
	会費収益	400,000
	経常経費寄附金収入	3,753,000
	受取利息配当金収入	3,000
	雑収入	0
事業活動収入計(1)	6,620,000	
支出	人件費支出	2,869,000
	事業費支出	1,930,000
	事務費支出	1,721,000
	事業活動支出計(2)	6,520,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	100,000	
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等収入計(4)	0
	固定資産取得支出	0
支出		
施設整備等支出計(5)	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	
その他の活動による収支	収入	
	積立資産取崩収入	0
	その他の活動による収入計(7)	0
支出		
その他の活動支出計(8)	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	
予備費支出(10)	100,000	
当期資金収支差額 合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	
【資金残高】		
前期末支払資金残高(12)	5,683,630	
当期末支払資金残高(11)+(12)	5,683,630	



# あたたかいご支援 ありがとうございます



2017年11月1日～2018年4月30日までに、次の方々から社会福祉法人愛媛いのちの電話への寄付または愛媛いのちの電話後援会への会費としてご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。今後ともご指導、ご協力をお願い申し上げます。(五十音順・敬称略)

個人	秋川 裕恵	足立 純一	阿部 待子	石井 直樹	石川 和史	石丸かほる	石丸 裕司
大野美代子	市川 泰輔	一ノ宮孝司	井野 恵子	今井久美子	印南 敏彦	上岡 桂子	大久保雅代
梶原 万裕	岡田須美江	岡野 鏡子	越智 京子	奥村 武久	越智 慶子	越智真理子	越智 通晴
久保スミ子	加藤 泰三	川崎 佳子	河野 由紀	川本こずえ	菊池 伸英	木村すみれ	国久 清司
佐藤 靖雄	久保田孝子	栗田 啓	栗田 澄子	桑田佳代子	河野 浩	五領田真理子	近藤 猛
高野 順子	城賀本早智子	須山 楓	関家 徳美	曾根美代子	高木 総平	高瀬 圭子	高田 洋子
田中 節子	滝澤久海子	武井 建治	竹内 康史	竹中真由美	竹野 皆江	竹本 仁弘	立川 百恵
徳井 廣志	田中都智美	田中 美枝	谷本 照美	田村由美子	垂水 真人	鶴井 善子	遠山 順一
中島真智子	徳増紀久子	徳本 至孝	戸田 佳乃	富岡 浩一	富永 和子	永井 和美	永井 隆
西澤 孝一	中條 泰行	中橋 恒	中原 昭子	中村 信雄	中矢 佳男	西岡美矢子	西川ゆかり
野村 和男	西島 節子	西田 明子	西田 裕子	西原 透	西原 康雄	西本 瞳	二宮 孝夫
廣野 幸利	野村 実	畑中企仁子	浜崎 友二	早瀬登美香	原 敏彦	兵頭 早苗	平林 茂代
松崎 純子	福岡 幸子	福原 千佳	藤木 信一	藤田 和子	藤本 理恵	牧 昌司	松浦 秀二
宮崎 節子	松原 望	松本 郁枝	丸山 正治	三神 弘子	三木 茂円	満汐 順子	宮内 隆典
森實 京子	宮本 幸	村上 廣子	村角千代子	村瀬 宏之	本 裕美	森 秀人	森岡 仁子
横山 真一	森山加代子	山形 久子	矢野 和枝	山内 弘子	山本しげ子	遊口 親之	弓達ますみ
	吉川 智子	芳野 重俊	渡部茂由子	渡部 裕子			

団体	マルタカ産業株式会社	伊予興業株式会社
安藤工業株式会社	株式会社井出工具	NTT労組退職者の会
株式会社伊予鉄グループ	伊予木材株式会社	株式会社エム・ワイ・ティ
愛媛建物株式会社	MS & ADゆにぞんスマイルクラブ	株式会社カネシロ
おりひめ友禅株式会社	株式会社 門屋組	桑原運輸株式会社
株式会社関西建物	医療法人勤有会 きら病院	新居浜商工会議所女性会
四国建設機械販売株式会社	常盤タクシー株式会社	日本キリスト教団丹原教会
日東石材工業株式会社	株式会社日東物産	医療法人ふくもと心療内科
日本キリスト教団砥部教会	日本基督教団三島真光教会	株式会社松山建装社
有限会社フットフィール	株式会社母恵夢本舗	医療法人眞理こころのクリニック
公益財団法人松山済美会	松山東雲女子大学短期大学キリスト教センター	有限会社 大和屋本店旅館
	医療法人宮本歯科医院	

商品提供	イオンリテール(株)	マックスバリュ西日本(株)
------	------------	---------------

**編集後記**

初めて第1回から作成に参加させていただきました。委員の方々の熱意に心動かされ、自分に出来ることを探しました。皆で知恵を絞って考え抜いたものが初校となって返ってきました。安堵も束の間です。思い描いたものを形にする難しさも学びました。何かやってみたいと思いつている方へ、手に取って頂き、背中を押す一助となりますように。次はもっと出来ることが増えるよう頑張ります。ありがとうございます。(C.F)



発行 社会福祉法人 愛媛いのちの電話  
 発行者 武井義定  
 編集 広報委員会  
 事務局 〒790-8691  
 日本郵便株式会社  
 松山中央郵便局私書箱 158号  
 TEL (089) 958-2000  
 FAX (089) 958-2014  
<http://www.e-inochi.jp/>